1　第2835号　（昭和30年1月22日第三種郵便物認可）　常磐毎日新聞　（夕刊）　（日曜休刊）　昭和34年10月1日（木曜日）

常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電（代表）2104番 2105番

本院 平市本町通九（本町通り）電話（午前）二三五五
カノウタ 叶産婦人科
分院 湯本駅前天王崎 （午後）電話（常磐）四〇一

天気予報
（今晩）北東の風曇り、明け方一時小雨。（明日）北東の風後南風曇り、夜になり一時小雨。（海上）今晩はおだやか、明日もおだやかだが遅くなつて多少風波

臨港鉄道の国鉄編入を陳情

常磐炭砿　運賃割高で海上輸送出来ず

越田和県議、飯島常磐炭砿副所長、磯吉石炭協会調査部長の三氏は、一日午前、石城地方市町村事務局に橋本局長を訪ね❶石炭需要期を迎えて国鉄の貨車不足が減送を招いており、十月以降の送炭に貨車の増配❷各地の火力発電所からの需要が増え、しかも大部分の火力が海上輸送を望んでいるにもかかわらず、臨港鉄道の運賃が割高のため、海上輸送を不可能にしている❸このため国鉄貨車の増配と臨港鉄道の国有化―を関係各省に陳情、早急実現をはかつてもらいたいと申入れ、約一時間にわたりこの問題を中心に四者が話合つた結果、石炭危機突破対策委員会に持込み、一両日中に関係市村長、同議長、商工会議所会頭とはかり、申入れ事項の早期実現のため運動を盛りあげることになつた。

申入れは常磐地方炭鉱の一致した意見として行われたもので、炭鉱関係者の話によると、常磐炭田の石炭輸送は中小工場の立直りから需要が急激な伸びを見せ、とくに冬場の需要期とあわせて引取りがおう盛になつてきたが、九月期の送炭計画は三十二万二千四百トンに対し去る八月の七号台風以来、貨車回りが悪化して計画より一日四十車、一カ月に一千百七十四の貨車不足、このため三十万五千八百六十トンの実績で終つてしまい残り四万トンは需要者からの引取りがあつたにもかかわらず送炭ができなかつた。とくに国鉄関東支社管内四管理局のうちで水鉄局が最も悪く、他が一〇四%と高い輸送実績をあげているのに水鉄局はやつと一〇〇%で終つている。このことから見ても石炭輸送が大半を占める水鉄局では石炭不況時に立案した輸送計画を、需要伸びが見られてきた現在も変更しておらないため、需要期を迎え計画通りの配車を陳情し、十月の送炭目標である三十七万トンはぜひ実現しなければならないといつている。

また、最近各地に石炭利用の火力発電所が増え、ボイラーの改良によつて、これまでは六千カロリー以上でなければ利用できないものが五千カロリー以上の常磐炭の利用も可能になつたことから東京港に面する新東京火力発電地帯の十カ所では重油、石炭を半々に使用しており、年間七百万トンの石炭需要を見込んでいる。うち常磐炭は一〇%（約七十万トン）から一五%（百万トン）を引取つてもよいとしてきている。このほか千葉、川崎、鶴見の各火力発電所とも常磐炭を引取る場合、北海道炭より運賃がトン当り一千二百円以上安くつくため、こぞつて常磐炭利用に踏み切ろうとしている。とくに千葉を除いて各地の火力発電所とも国鉄引込み線をもたず専ら海上輸送にたよつているため常磐炭を小名浜港から積出す構想をたてたが、臨港鉄道の運賃が高くつき、山元でコスト引下げのため炭価を安くしても引取り価格が高いので他との振り合いを考えて引取り価格を下げることは経営上難かしいといつている。東部石炭協会が調べた湯本駅から小名浜までの運賃差は、トン当りトラックで二百円、国鉄普通料金では百十九円、これに対して臨港鉄道を利用すれば泉駅まで百円、泉から小名浜駅まで二百二十九円もかかり、国鉄料金に比べ二百三十円も高いので、臨港鉄道を国有化することが石炭危機を突破できる唯一の対策だとみており、石炭協会では各地区の火力発電所の需要度とにらみ合せて四十年度までの海上輸送計画をたて国有化実現のため拍車をかけるため申入れを行つたものである。この計画によると三十五年度には二十九万七千五百トン、三十六年度は三十三万七千五百トン、三十七年四十九万五千トン、三十八年四十九万五千トン、三十九年六十一万五千トン、四十年度には七十三万五千トンの計画でいる。申入れを受けた地元市町村協議会事務局でも小名浜港高度利用のためにも同問題を取りあげ、積極的に運輸省などの関係機関に陳情を行い、実現に努力することになつた。

出荷のトップ切る

草野で早場米五俵

五年続きの豊作の喜びにわく平市中平窪字古館の五十嵐光雄さん（三）が二十九日市内のトップを切つて早場米を出荷、きのう三十日までに三人の農家から平窪、草野両農業倉庫に七俵が昨年より約一カ月早い入庫をした。五十嵐さんは石城地方の早場米第二号になるわけだが、岩手県から導入した藤坂五号を早植えしたもので、このほか同市泉崎、渡辺清喜さん（四三）は「はつにしき」と「とわだ」、同市馬目字池内の江尻喜三郎さん（五）も「はつにしき」の早植えであつた。食糧事務所平出張所では、早場米だけに胴割米の混入が多いため十分乾燥をするよう注意しているが、同所はじめ各農協に水分測定器を備えて検査を厳重にすることになつた。

この早場米は普通の田植（六月中旬）より約一カ月早く早植を行ない、成育期に適雨適温に恵まれて順調な成育をみせたもので、今後引続き天気がよければ出荷も増えるもよう。

【写真、出荷された早場米＝平市草野倉庫で】

四倉農改推進員協議会

四倉町農業改良推進員協議会は、一日と二日午後一時から各地区ごとに開き❶稲作十傑競作会開催❷三十五年度水稲早植栽培普及推進❸畑作除草剤の使用❹農事試験場の拡充整備についてなどを協議する。各地区の日程、場所はつぎの通りである。

▽一日、四倉公民館▽一日、大野支所▽二日、大浦支所。

論説

平自動車運転者会の運営を批判する

「平市自動車運転者会」の総会は、一昨夜七時から平市公会堂で約三百五十人が集つて開かれたが会は同夜九時、司会者側と参加会員の間に、根本的な意見の相違が解消出来ず中途退場する者続出で、総会は遂に流会であると判断されたが、司会者側は会場に残留、諸規約や決、予算書を議決承認し役員を選任するなど総会の議事議案は一応有効に成立した、との解釈によつて、同会の運営には、大きな疑問を残したまま司会者側によつて、強行されると危ぐされるむきもあるので、是非世論に訴えても、この際解明すべき重大な筋合であると、思推されるものである。

そもそも今の社会文化生活と自動車とは、切り離すことの出来ない一つの要素となつていて「車」を操縦出来ること自体は大して自慢にもならない一般常識化された問題で、近いうちに日本人でも、自転車代りに自動車を乗り廻すような時代になりつつあるのである。

このように普遍化されたものを、如何にも特殊技能者の集団として、大きなものを無理して作ろうとするところに、新旧の時代ずれによる感覚の摩擦が、当夜の総会の混乱した大きなゆえんではなかろうか。勿論、本会の目的や事業に就いては反司会者側と雖も全然異論の余地のある筈とても無い。問題の焦点は、運転免許証を所有する者全員が半強制的に入会を迫られ、司会者側が要求する年間一人当り金二〇〇円の会費を収めなければならない、とする義務制が合法的に成立するかどうかにあつたようだ。

司会者側は、本会の会員は、旧平市内の、自動車運転免許証所持者全国であると、主張するのに対し、反対者側は、入脱会は個人の自由意志とし、何等本会から拘束されない事但し、交通安全確保に関する其の筋の講習会には、進んで受講し、会場整理や、講師と世話人への茶菓子代の実費は、その都度出席者によつて分担する事としたい、又、年間会費一人宛金二百円は不当に高過するし、その上義務付けられた漠然とした金銭には心良く応じ切れない。又会則に会費一人年額金二〇〇円を明確にした事は何としても了解出来ない。なんとなれば運転者は激増する一方なのにそれに比例して、それ程会の諸支出が増加するものではないから、集まつた莫大な金が、一部の者によつて不正に、消費される危険もなしとしない。現在司会者の考えている数字だけでも、会員二千百何十名で、年総額四十万円は欠かさず収入があると、胸算を立てているのである。それと、司会者側に対する反感といえば、参会者に対し、事毎に、目立つて高姿勢である。

司会者と、一般会員との間にどの位の差が有るのか知る由もないが、事前に建てられた原案はどうでも早急に、議決しなければならないような羽目に、なつているのではないか、とも思われる。何故かといえば昨三十三年度は、十月十六日現交通係長菊地さんの「改正道路交通取締法施行令」の説明兼講習会で各自免許証持参の事と、但書きのある平警察署の、一種の召集令状でもあつたので、定刻過ぎには、二千数百名にものぼる超満員となつた記録がある。

以後、今年度には未だ一回もそれらしき集会もないので、司会者としては近く講習会を開催その時会場の入口で、今回総会で決定したと称して参加者一人から二百円宛の会費を徴収し、一夜にして四十万円からの莫大な現金を掴もうという魂胆らしい。その証拠に“何故吾々は年間二百円もの会費を支払つてまで入会を義務付けられているのか”と質問したところ、“講習は本会を経由しなければあなた方個人では受けられない”“然らば講習を受けなかつたならどうなるか”と反問すれば“これからは、年に何回か法規の講習を受けなければならないようになる”“とすると、それは法令による運転者としての、受講の義務という事になれば、反対に係官はまた運転者に講習せねばならない法的責任があることになるから、その講習会は無料ではないのか”この返答は会場がガヤガヤして聴き取れなかつたが、“とにかく受講しなかつた者が事故を起した場合、大部分は行政処分を受けている、皆さんが会費を支払つて、得をするとも決して損はありません”とオドシたりスカシたりである。

然らば受講した者が交通事故を起した場合、行政処分を免除されるという論法も成立つ訳である。何れにしろ司会者側の提出した三十四年度の収支予算書と既に半年経過したやはり三十四年度九月現在の収入支出決算報告書を対照し、検討すると誠に奇怪千万である。三十四年度決算は九月現在まで半年に五万六百四十円しか、かかつていないのにもかかわらず、三十四年度予算書の方では、二千名から二百円宛で四十万円徴収した分と、本年九月までの上半期の残高二万七千二百五十円の合計四十二万七千余円を、来年三月三十一日の年度末までにビタ一銭残さず消費してしまうような[illegible]いた予算なのである。

乞食の俄成金と申しては恐縮だが、上半期に五万円そこそこでやつてきたものを、ぬれ手に粟の金四十万円が思いがけなく懐にころがり込んだからとて、下半期で四十三万円も繰越金なしに使いはたさなくともよさそうなものである。ちなみに前三十三年度の収支決算は、収入約九万八千四百円で支出は二万一千七百円、繰越残高は約七万六千七百円となつている。

しかもこの年度内には前述の講習会まで含まれているのであるから、なおさら疑惑が残る。二万一千七百円でもあれだけのことが昨年できたのに、今年の下半期で五十万円ちかい大金が何故消費されねばならないのか納得が出来ない。会運営の当事者の猛省を促すと共に、会員有資格者並びに市民各位の公正なる批判と良識に敢えて、訴えんとするものである。

K・M

自動車七台も盗む

東京で捕った内郷の男

九月九日東京警視庁に自動車窃盗の疑いで捕つた内郷市白水川平生れ住居不定、無職根本実（二〇）と茨城県生れ住居不定君島三郎（二四）はその後内郷署の調べで平、常磐、水戸市などでも自動車、自転車を盗んでいることがわかつた。自供によると、二人は共謀して去る五月十一日夜、平市三丁目楽器店高倉昭一さん（三）方からオート三輪車一台を盗んだほか平、常磐、水戸市などから自動車七台、自転車十二台、計七十一万円相当を盗んでいた。

閻魔帖

○…湯の街（常磐湯本）[illegible]で犬騒動がもち上り、はてどうなることかと街の話題を集めている。市内中央通りに“百両”という店を出している齊柳隆さんの愛犬スピッツが行方不明となり、齊柳さんが八方手を尽していたところ、同じ市内の横町に住む鈴木三郎さん方で飼つている“ノン”というスピッツが、行方不明のスピッツそつくりだと齊柳さんがさつそく参上、鈴木さんと押問答の末「これは俺んとこの犬に間違いない…」といや応なしに我が家につれて帰つた。フンガイした鈴木さんは、常磐[illegible]らは何の音沙汰もないが、この事実は犬だけが知つている―と、映画題名を持ち出すシャレも飛んで、市民は“犬騒ぎ”を見守つている。

銀行マンの禁煙クラブ

真実は犬だけが知つている

“たばこ”は身体に毒だと、同じ職場の若い人たちが揃つて禁煙を実行して話題となつている勿来市にある東ほう銀行支店の大輪支店長から男子職員十一人がその話題の主。禁煙の音頭取りは大輪支店長だが、一人一人[illegible]れては、机上の空論に終るだけだと、職員と相談した結果、実行に移つたもので、最初の一カ月間は客の喫煙に悩まされ、ゴクリとノドをならす者もいたがそのうちに“たばこ”のことは自然忘れ、いまでは無縁同様のシロモノとなつた。専売公社には悪いが、この禁煙運動が全国に普及され、実行されたら日本の経済も変るでしょうと笑いながら、お客さんも煙ならぬ怪気炎にまいつているとか。

○…きのう平職安で開かれた管内市町村の職業担当者会議の席で、内郷市から出席した某氏が「具体的にどこの炭鉱でどれくらいの解雇者を出したか？」と職安の印刷した説明内容が不十分だと食い下る一幕があつた。職安では炭鉱別に首切り人員を明かにすると、融資面に支障をきたすからと、故意に詳細な数字をボカし、総計だけを並べたと答弁したが、内郷市の某氏は「われわれにも明かされぬのか…」といつた調子でムクれていたが、結末はどのように落着したのかー。

60才以上の老令者は整理せよ　大和田議員

市当局　民衆駅、官舎跡に移さず

平市議会は一般質問に入る

平市議会最終日の一日は午前十時開会、一般質問を行つた。質問者は小野（栄）議員など新人六人を含んだ十議員で、市当局との間に活発な論戦が交わされた。質問はターミナル民衆駅、下水道、工場住宅用地造成などに集中されたが、なかでも革新系の大和田議員が❶運動公園などの土地買収を地主とのなれあいで行つた❷入札計画を変更して予算を大市に増額した❸機構改革にともなう人事刷新として六十才以上の勇退を勧告するという不明朗な土木行政などについてするどく追求するなどの一幕もあつた。午前中の主な質問内容はつぎのとおり。

◆小野（栄）議員＝❶ターミナル民衆駅建設は都市計画と併行して行うといわれているが、駅前移転は問題である。しかし鉄道官舎を移転すれば簡単であるとも伝えられるので、そのあとを駅前広場として東部に駅を移転する構想はあるか❷平三中校庭の拡張工事を促進せよ❸平商校が新築されるというが、これを移転して新庁舎または市民会館を建設することが南部発展のために必要である。❹製氷冷凍工場建設により既設業者が圧迫されるものと考えられるので、大規模なものは考えなおすべきだ

諸橋市長＝❶民衆駅は中心都市でもある平市には重要なことであるので、早期解決を図りたい❷三中校庭は教育のためにも早急に完成させたい。

樋口助役＝❶民衆駅建設については計画なども水鉄と一致しているので、有望視されている。このため駅前拡張にともなう民衆駅建設を図るよう一両日中に関係当局に計画書などを提出するが、立体的なものにしたいと思つている。鉄官あとに駅を移転することにつき、国鉄としては路線の問題などから移転できないという見解をとつている。

“飯岡商工課長＝製氷工場は総工費六千万円であり、建設地は鎌田地区の夏井川畔に決つた。既設業者との関連については市販が問題であるが、圧迫するようなことはない。

◆上坂議員＝❶民衆駅の構想など細部について❷尼子町地内の下水道完備の計画を早急に樹てるべきである❸旧新川の清掃についてやる意志はあるか❹失対労務者の賃上げ（八十円）について当局はどのような態度をとつているか❺長橋町地内に防火水槽を建設する計画❻戦災復興にともなう精算金についての処置❼城山地区の消火せんと防火水槽について❽機構改革にともなう職員採用基準条例の早期設置と臨時職員の定数化❿市営住宅の修繕料を増額せよ。また豊間地区などに住宅を建せつする意志はないか。

樋口助役＝❶平ステーションビル株式会社をつくり店舗の貸付けなどを行う。建物は地下一階地上三階の四千七百五十二平方米（千四百四十坪）一億五、六千万円を要する[illegible]する❷尼子町の下水について[illegible]早急に解決したい❸旧新川清掃は工夫して仕事を行うようにしたい❹人夫の賃金値上げは市単独では解決できない。労働省でも考慮しているので県、中央に対し就労日数増加と合せて接渉している❺清算金問題は長期にわたり未解決となつているので速やかに双方合意できる線で解決したい❻条例については厳密な採用基準を設けたい。臨職については適格者を登用したい❼住宅の修繕は調査して追加などもしたい。豊間地区の建設は検討したい。

渡部土木課長＝❶長橋の下水は条件が悪いが早急に解決したい❷城山地区の防火水槽は六軒門杉平に計画している。

◆坂本（登）議員＝❶夏井川以南海岸工場住宅用地造成について三十五年度着工が予定されているが市当局はどのような方針をもつているか❷病虫害防除のため動力フンム機を購入する意志はあるか。

諸橋市長＝早々に実現したいと考えているが、現在小名浜を中心に、夏井川は第二段階にある。しかし工場、住宅誘致は平市発展のためにもこと重大なので早期実現を期すよう努力する。

荒井農務課長＝年々病害が多発する傾向にあるので、考慮する

◆大和田議員＝❶平隣保館市営移管❷本町通り舗装工事を促進せよ❸追加予算案のうち地下水そうが設計変更により百九十万余円から[illegible]れあいで買収、反当り五十[illegible]千円という莫大なものになつたわけだ。このような不明朗は大きな問題であるので明朗化のためにも明確な回答をせよ❹機構改革にともなう人事刷新につき、三十才以上を退りぞいて若手に重点をおくべきだ。

樋口助役＝❶隣保館は県が厚生省と打合せしているが、この指示があり次第、年度の切り換え時に移管した❷舗装工事は県などと接渉しているが、五丁目までは十二月一杯で完成する[illegible]万金の処置をとりたい❸土木行政は指摘された点で市民に迷惑がかからぬようにする❹人事の刷新なくして機構改革はなされないので、充分検討して明朗で有能な人材による刷新をしたい。

大会新記録が続出

小学校対抗の運動会

平市立学校連絡協議会主催の第九回市内小学校連合体育大会は、きよう一日午前九時から平第一小学校の校庭に市内十一校の六年生三百五十人の各種の選手が参加して盛大に繰り展げた結果、男子百メートル競走で大会新と大会記録一つずつ、また女子走巾跳で二つの大会新と男女ボール投げに二つの大会新が出るなど好記録が続出した。また各校対抗だけに競技もより以上の熱戦が見られた。各種目の成績は次の通りである。

▽男子百メートル競走A組❶小島正志（平一小）14秒2大会新❷滑野光司（平六小）14秒4大会記録❸白土義雄（赤井小）14秒6。B組❶中村泰弘平三小　14秒5❷四家孝（豊間小）14秒8❸林田初弘（平五小）15秒　C組❶伊藤正俊（平一小）❷新妻佑（草野小）15秒❸四家正昭（豊間小）15秒。D組❶矢吹一郎（高久小）14秒8❷草野俊英（赤井小）15秒❸吉野公真（平三小）15秒。

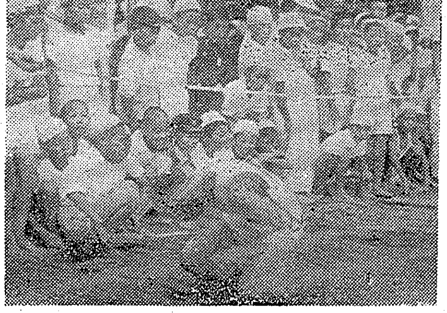
▽女子八十メートル競走A組❶鹽倉正子（平三小）12秒7❷川島洋子（平一小）12秒8❸小林洋子（赤井小）13秒。B組❶桑野けい子（平二小）12秒8❷永山美恵子（平五小）❸鈴木千恵子（豊間小）12秒9。C組❶政井アキ子（豊間小）12秒5❷鈴木美奈子（平三小）12秒8❸鈴木洋子（平一小）12秒8。D組❶三戸珠枝（平二小）12秒4❷高萩正江（草野小）12秒7❸馬上マサ代（赤井小）12秒8

▽男子走巾跳❶鈴木正志（平一小）4メートル42❷井戸川伝臣（平二小）4メートル30❸北村好伸（平六小）4メートル40。

▽女子走巾跳❶岡田カノエ（平三小）4メートル04大会新❷鈴木清子（草野小）4メートル04大会新❸武田幸子（平一小）3メートル84

▽男子ボール投げ❶滑野光司（平六小）51メートル大会新❷高橋則夫（平一小）

▽女子ボール投げ❶林登志子（平五小）37メートル95大会新❷中村悦子（平一小）



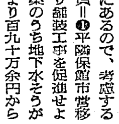
【写真は走巾跳風景】

水稲の種子生産圃審査会

平市では三十四年度指定種子（水稲）生産圃の審査を行なうが、二日は高久、神谷、五日は豊間、草野、飯野、平窪、六日は赤井となつている。

芳賀さんら入選

県下小学校綴方コンクールに



県下小学校綴方コンクール予選の審査は、去月で締切つたが、平市草野小学校五年生芳賀知子さん（一一）＝平市馬目字池田六＝の“春の遠足”と常磐市長倉小学校六年生片山正徳君（一二）＝常磐市上湯長谷字長倉二二一＝の“納豆売り”が見事入選した。このため両君の作文は、十月中に行われる全国コンクール大会に出品されることになつた。

【写真は草野小の芳賀さん】

フォークダンス講習会

平フォークダンス会の講習会は、三日午後二時から平第二小学校講堂、平フォークダンス・サークルの講習会は四日午後六時から石島公民館でそれぞれ開く。講師には平市教委事務局からダンス講師に依頼している千葉、大門女史ら十三人があたる。

慶弔録　1日

【内郷市】

「婚姻」▼大島松太郎（金坂五六）と国分トメヨ（田村郡船引町堀越）

「出生」▼羽賀久美子（三本杉二九修長女）▼佐藤美佐子（岸根六五一安長女）▼円谷ヨシ子（堀坂一二三國一郎四女）▼吉田裕男（岸根六五小滝定長男）▼石井勝広（御殿一昭長男）

「死亡」▼五十嵐千代子（湯本天王崎）

【平市】

「出生」▼佐藤栄二（赤井字大倉松二二男）▼伊藤道子（旧城跡二〇正徳長女）▼中塚弘平（赤井大平三三女）▼相田興子（中平窪）▼[illegible]（銀町四〇草長女）▼蛭田聖子（高萩市平夫長女）▼会川真由美（小島町修長女）▼佐川鏡治（三町目六浩長男）▼堤直人（東京都葛飾区次男長男）

「死亡」▼富田セイ（八二）＝下荒川字諏訪下、博明母

「婚姻」▼佐藤房次（七軒町留作二男）と坂本秀子（草野下神谷松栄四女）

【勿来市】

「婚姻」▼森大次（植田宮間町）と宮崎ムメ（田村郡西田林）

「出生」▼小泉幸子（茨城県勝田市二朗長女）

至誠院葬送の際は御多忙中の処遠路態々御会葬下され且つ御鄭重なる御香奠を賜りまして誠に有難うございました
早速お伺いの上御礼申上ぐべきですが略儀ながら紙上にて御礼申上げます
昭和三十四年十月一日
平市鍛冶町一（いき政）
阿部信行
妻　阿部竹子
友人代表　加藤武久

天高く折詰のシーズン来る
夏のうちズツと休んでいました折詰をいよいよ初めることになりました。味もよく、見た目にも美しいとご好評を頂けるよう懸命に相つとめます。
○寿し折詰　九〇円より調製
○幕の内折詰　一〇〇円より調製
○金蘭特製　みかん缶詰鮭缶詰
○紳士合シャツ二四〇円を二一〇円
平市 電3141番 藤越

秋の味覚
伊勢松坂牛のすき焼　御一人前　二〇〇円
松茸の土びんむし　五〇円
郷土の誇り　白鳥の雪
灘の銘酒　桜正宗
香酒屋 まるす
平市中央通り 電三六二〇

平名物
福島県土産品の品評会に於て第一等の県知事賞を授与されました これ偏に各位の御引立の賜と御礼申上げます
銘菓 六段最中
銘菓 六段羊羹
六段本舗 平凡 平駅前 電2509

厚生医療指定病院
労災保険指定病院
身体不自由者相談所
外科 整形外科 内科 小児科 皮膚科 泌尿器科 呼吸器科 理学診療科 レントゲン科
財団法人 竹林病院
院長 竹林貞吉
本院 平市十五町目 電話四二一・四二二
分院 平市小太郎町 電話四一三

ナイトショウ
1日
浅太郎からす
市川雷蔵 嵯峨三智子 黒川弥太郎 水戸光子
世界館

新柄人気投票当選者
☆特等（背広上下）
武藤幸平　平市[illegible]町二四
☆一等（婦人用ジャンパー）
宮森　弘子様　平市大町一〇の四
白岩　明様　北茨城市南中郷石岡
☆二等（純毛ウース下）
阿部　欽市様　泉駅前
齋藤　順一様　平市田町
上野　敏一様　磐城市小名浜
☆参等（高級ブロードYシャツ）敬称略
木村美代子　常磐市龍ケ沢四
永井清四郎　常磐市長倉
遠藤　邦彦　磐窪
山形　仁志　平市桜町三
森よしの　平市長橋町二三
宍戸　平市柳町四
松田　幸作　内郷市御厩町久世原
金沢　勝雄　内郷市高坂町桜井
鈴木　洋子　内郷市内町水の出
安藤　朗　内郷市小島宮前
☆努力賞（名入れタオル）
星野　貞良　常磐市湯本五五
他五四名
洋服のデパート
鈴木勘氏商店
一丁目店 TEL5711～2
二丁目店 TEL5263～4

市長の退職手当削らる

課名称など五議案を修正

平市会　市井氏ら三委員を再選

平市九月定例市議会三日目の三十日は午後一時再開、各部常任委員会に付託した議案報告と質疑が行われ、支所設置条例など五議案などが一部修正されたほか負担金徴収条例、決算四件が継続審議となつたほかは満場一致で可決された。しかし今議会において修正五件と地方自治法違反行為とみられる条例が提案されたことは市当局として大きな汚点を残した。

これより次いで任期満了にともなう固定資産評価審査委員に多田井笑次郎氏（六二）＝大工町二五＝公平委員に市井茂氏（四九）＝田町六三ノ八＝教育委員に藁谷久太郎氏（五四）＝下高久字前ノ内七七＝をそれぞれ再選したが、革新系議員の間から「市長は身内のものに議員をおき任命しているが、年令的にも若い者にすべきだ…」と反対の声もでていた。

修正されたうち主なものをみるとまず機構改革では昨報のように廃止の浮目にあつた飯野、神谷両支所が出張所にして存置されることになり、農政課は水産と農務を両立させるために農林水産課と再び改称された。特別退職手当では市長の百分の五十が百分の四十五に、教育長の給与が五万円以内となつたもの。

"開拓部落にも灯りを"

常磐市会に八件の陳情

常磐市議会に提出された請願、陳情は次の八件である。

◇第二分団（西郷地区）の消防機械庫建設について＝現在の機械保管所は粗末で位置が悪く、急用のときは不便をきたすので適切な場所を敷地として機械庫の建設を要望（第十三分団長佐川博ほか一名）◇大字水野谷地区市道舗装促進＝瀧ケ沢から水野谷駐在所に至る間と瀧ケ沢から浅貝に至る市道の舗装（駐在員渡辺祐甚ほか八百七十六人）◇給食婦配置（磐崎小学校々長山名孝三、PTA会長酒井敏雄）◇湯台常部落の下水対策＝下水路の不備は通学及び通勤、衛生面に重要な問題であり、早急に下水の完備を要望する（部落民代表作山正二他十九名）◇白鳥温泉を春木屋旅館に引湯する＝市の予算に負担をかけずに公衆浴場とフレーム栽培に温泉の利用をしたい（春木屋旅館主織内信一）◇三十四年度防犯協会予算の追加申請＝犯罪防止をはかるための青年弁論大会費、防犯映画会費、防犯機関紙費、自転車防犯登録費、防犯灯設置費、防犯標識設置費、表彰費、助成金計十一万三千二百円を交付されたい（常磐市防犯協会長白石初太郎）◇まこと幼稚園の次年度就学幼児の補助＝公立と同じく来年度就学幼児（満五才定員四十名、現在二十六名）だけでも補助の対象として補助されたい（まこと幼稚園保護会長小沢悦夫ほか九十五名）◇磐崎開拓部落に一日も早く電気を引いてもらいたい（磐崎開拓地区代表石橋毅高）

内郷の市会終る

内郷市定例市議会最終日は三十日午前九時から二階会議室で全議員が出席して開き、午前中は各委員会を開いて午後一時から本会議に入つた。しかし質問もあまりなく全議案を可決した。なお同議会に提出した二件の陳情のうち❶宮沢地区の地下水槽と消火栓の設置については継続審査❷御厩町横根部落の水道施設、消火設備については撤回された。

平二小が日本一

全国学校新聞コンクールに

第九回全国日本学校新聞コンクールに応募した平第二小学校（校長湯山啓二氏）の学校新聞が全国一位に入選したと連絡があり校長はじめ児童らが大喜びしている。

このコンクールは毎日新聞社の主催で、あす一日東京都毎日新聞社ホールで展覧会が開かれるが、その席上で発表され、全国一位として文部大臣奨励賞を贈られる。

同校は去る昭和二十五年から学校新聞を作成しており、現在七十八號を出版、低学年用（一、二、三年）九百五十部、高学年用（四、五、六年）一千五十部を謄写刷で全児童に配つているが、同校の新聞部（部長阿部銃郎君＝六年生）は二十三人の生徒が阿部良全、吉田文江、鈴木節校ら三教諭の指導で、毎月一回出版しており、特色としては低学年用と高学年用の二種類の新聞と写真が多いことと、子供たちが取材、編集、整理、製版、配達などを行うことで、昨年までは児童たちから購読料を徴収していたが、本年度からはPTAが五万円の予算を補助することになつている。

同校がコンクールに応募して入選したのは、なんといつても"プールはこうしてできた"の特集版がものをいつたようである。これらの新聞は豆記者二十四人が取材して整理、編集され、ガリ版印刷されるが、カットと見出しは先生が援助した。この入選で教諭はじめ児童たちは"我らの新聞が日本一だ"と大喜びしている。

湯山校長の話「本当にお目出たいことです。私の学校は毎年コンクールに参加していますが、三十二年と三十三年には全国二位を獲得していますが、本年は第一位に選ばれたことは父兄たちの協力によるものです。新聞を編集、発刊することによつて、近代的な感覚を身につけると同時に社会科、国語、図工などの教科の勉強ができるので、今後ますます学校新聞に努力したいと思います。なお、この地区学校新聞研究会が昨年八月に誕生し、指導者が研究しあつていることも今回の栄誉にあつた力と思います」

【写真は一位になつた平二小新聞部】

サンマの群が三陸沖を南下

大型サンマの群が三陸沖合に南下

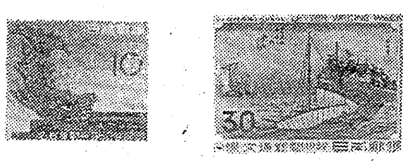
磐城市の第七大貞丸など八隻の船が三十日朝、塩釜港に二百六十七トンを水揚げした。

きよう、小名浜漁協に入つた連絡によると台風十五号の去つた三陸沖合の岩手県トド岬から九十マイルから百二十マイルの海上に大型サンマの群が現われ一晩で一隻当り三十トン以上の好漁をみせた。これは北海道エリモ岬沖合にあつた大型サンマ群が台風のあと冷い親潮に乗つて南下したものと見られ、県水試の話によると「この種のサンマの群が急激な南下を見せ次第に漁場が本県沖合に南下しはじめる前ぶれである」と語つている。

「交通週間」の記念切手発売

郵政省では名古屋開府三百五十年記念と国際交通週間にちなんで、一日には名古屋開府の記念切手、四日には国際交通週間記念切手をそれぞれ発行する。

平郵便局では名古屋開府記念切手「金のシャチホコ」の意匠（一枚十円）を五千枚、交通週間記念切手「東海道五十三次のうちの桑名」の意匠（一枚三十円）を二千枚を発売する。



【一日と四日に発出される記念切手】

中学生の駅伝競走

平ー磐城往復28キロ

石城地区中体連主催の第五回郡下中学校駅伝競走は四日行われる。走路は平市ー磐城市滝尻間往復二十八キロを疾走する。区間は平市石城職業補導所前をスタート、内郷市堀坂まで一区、常磐市上関ふみ切りまで二区、小名浜街道分岐点まで三区、磐城市滝尻まで四区としてここで折返し、平市を決勝点とする。

生徒、大巾に減る

白水小、川平坑の入居者移転に

内郷市立白水小学校生徒数は二十九日現在で四月以後百二十五人の減となつた。今年四月の入学時には生徒数八百二十七人であつたのが、現在七百二人、これは常磐炭砿川平坑の住宅移転で、従業員の家族が常磐市へ転校したためである。

小田炭鉱企業合理化を延期

企業合理化案でもめている好間村上好間の小田炭鉱では十月一日から合理化実施する方針であつたがその後組合との話合いで解決まで実施を延期する事になつた。組合では賃金協定書に含まれる交渉権を一切常炭鉱に正式に委任し、今後強力な反対斗争を続けることになつた。

秋の大掃除

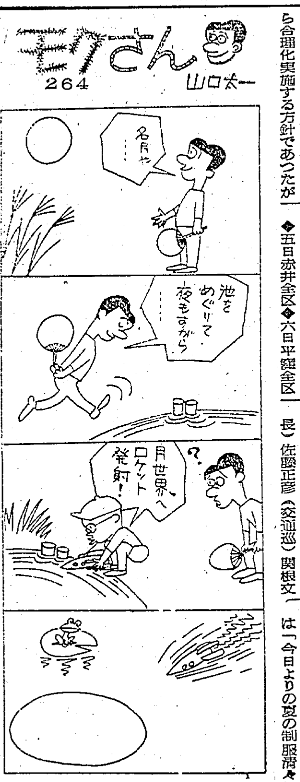
平市

平市では秋季大掃除を十月五日から実施するが、当局では一世帯当りBHC粉剤一袋（三百グラム）を無料配布する。

◆五日赤井全区◆六日平窪全区◆七日旧市内三十米西側◆八日神谷全区◆九日草野全区◆十二日旧市内三十米東側と鉄北◆十三日夏井全区◆十四日豊間全区◆十五日高久全区◆十六日飯野全区。

モクさん

264　山口太一



名月や……
池をめぐりて夜もすがら……
月世界へロケット発射！
？

民間人らを表彰

犯人逮捕に功績

内郷署

内郷署は三十日午後一時から二階会議室で優良警察官、民間人五人に金一封を贈つて表彰した。表彰者次のとおり。

▽署員＝宗像実司（防犯巡査部長）佐藤正彦（交通巡）関根文雄（技術吏員巡）門馬文雄（会計巡）

▽民間人＝内郷市宮町町田二鉱園飯村仁さんで、同人はつねに署員に協力する一方今年六月には「今日よりの夏の制服清々しく朝の道行く、若き警官」という短歌一首を内郷署に寄付している。

（商工ニュース）

〔県住宅金融会社が勿来に支店を開設〕福島県住宅金融会社（代表取締役やく岡村松一氏）＝本社平市鍛冶町＝は、十月一日から支店を開店するが、二十八日午後一時から平市有楽食堂日本間で開店祝賀披露式を行つた。同金融会社の支店は勿来市植田町にもあり、近い将来磐城市にも設置する計画をたて、石城郡一円に手をのばす計画であるという。

遊び道具一式置引さる

二十九日午前九時二十分平発、常磐線下り四二五列車内で、郡山市大槻町字上町八二、無職吉田紀男さん（二九）は、網棚のうえに置いたミツト、ボール、靴、ハーモニカなど在中の風呂敷包み、時価二千二百円相当を内郷ー平間で仮眠中置引きされたと平鉄道公安室に届けた。

秋晴れ多い十月

気温は平年並み

三カ月の天気概況

福島地方気象台では十月から向う三カ月間の気象予報について次のように発表した。

概況　十月の中旬となると本邦に秋雲をもたらした前線帯は遠く南方海上にさり十日位の周期で移動性高気圧や低気圧が去来するようになるので天気は規則的に変るようになり、さわやかな秋晴れがみられるようになる。そして十月下旬から十一月にかけては移動性高気圧の進行速度が遅くなるので晴天が持続し一年中で最も晴れた日が多くなる。しかし気温は日に一度くらいずつ下降を続けているので十月下旬には各地に初霜が見られ、また高山には初雪が観測される。そして十一月上旬末から中旬にかけて結氷が見られ、十一月末になると季節風が吹き出して初雪があり、十二月上旬早くも山岳部では根雪になるのが普通であるが、近年は十二月が毎年暖かく根雪になるのが多少遅れて十二月下旬ころになつている。

予報　この秋は移動性高気圧が北寄りして通りやすいので秋晴れの日が多い見込みですが十月上旬ころは秋雨が降りやすいでしょう。十二月は月半ばころを中心に冬型の気圧配置が強まる時期がありましょう。なお十月末から十一月上旬には寒波が入り山間部では初雪がありましょう。台風は十月上旬ころ本邦への接近が考えられます。

気温　十月上旬および下旬には低温があらわれやすく、とくに下旬には山間部で初雪があり、平地では初霜がありましょう。十一月上旬は寒波が入りますが、その後は寒暖の変動が多い見込みで平均では大体平年並くらいとなりましょう。十二月は寒さ平年並くらいで昨年よりは低くなり、とくに月半ばころは寒さが加わりましょう。

降水および積雪　十月、上旬ころは秋雨が降りやすく、とくに天気が大きく崩れやすい時期は月初めと上旬後半から月半ばころと月末ころとなりましょう。十一月は全般に平年か少目ですが、とくに上旬ころ山間部は初雪がありましょう。十二月は山間部に雪の日が多く、平年並か幾らか多目で浜通りは少目の見込みです。なお一、二度季節風が強まることがありましょう。

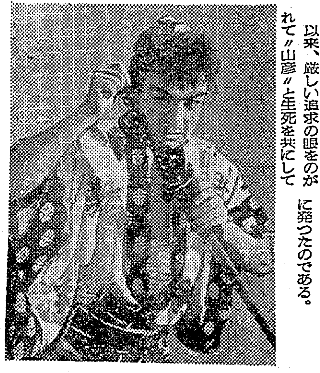
なお小名浜での平均気温を見ると十月は十五●三、十一月一〇●一、十二月五●一度となつており、最高は二〇●〇ー一五●五ー一〇●六度。また最低は一一・〇ー五●〇ー〇、二度と経過している。

洋服は　高島屋　平指定商　南町

平家末えいの最後

「恋山彦」橋蔵の二役

東映　上映中



解説＝最近ますます演技円熟した人気スタア大川橋蔵が大衆文学の雄吉川英治の名作に二役主演で挑む時代劇大作です。

名げん「山彦」の調べに結ばれた清純の恋に生きる伊那平氏の末えい、熱血の若武者伊那小源太の痛快波らんの物語をテーマにしたものだけに、虚無の剣士島崎無二斉と、二役を演ずる橋蔵への期待は大きく、橋蔵の二役にからむ、二人の女性には、大川恵子（お品）、丘さとみ（おむら）と東映若手第一線女優陣を配し、薄田研二、原健策、加賀邦男、片岡栄二郎、伊藤雄之助、田崎潤、田中春男、戸上城太郎、柳永二郎、沢村宗之助、小柴幹治、明石潮、香川良介、花房錦一、沢村精四郎、日高澄子、三原有美子など、多彩なキャストを揃え、また新たに桜すみ子、木谷マリの二新人をデビューさせるなど話題はつきません。

物語＝元禄九年、五代将軍綱吉の世。綱吉は年若く天下の実権は大老柳沢吉保ににぎられて、江戸の街は華奢に流れ、風流に明け暮れていた。

そのころ、遠く伊那、虚空蔵山の頂きに、伊那平家村と呼ばれ、壇之浦の戦いに敗れた伊那宗則を祖とする一族があつた。以来幾百年、一切外界と交りを断ち、いつのころからか、麓から娘を奪い若者の嫁として、子孫相伝えてきたものである。

一族の首領、伊那神司宗経のちやく男小源太が自から馬を馳つて館に迎え入れたお品は、瞳の澄みきつた美しい娘である。

彼女の父、柳川流三げん名人十寸見源四郎は柳沢吉保の愛妾おさめの方に名げん"山彦"を所望され、断つたのが仇で不慮の最期をとげた。

以来、厳しい追求の眼をのがれて"山彦"と生死を共にしてきたお品である。

元暦以来の御勅文を拝し、朝敵を討つ機会を待ちわびていた伊那平氏は、お品の話を聞いて遂にその鋒先を江戸、徳川の柳沢に向けた。

勇敢な小源太は、六万石飯田藩主堀美作守のちやく男鶴之丞をおとりに、甲冑に身を固め、胸に勅文を抱き一族三名を従えて江戸に入つた。

万人注目のうちに、将軍綱吉大老柳沢と対決した小源太も、世を知らぬ悲しさで、御勅文をマキ上げられ、一族三名の命を失い、自からは無数の槍先を逃れて、江戸城の堀の水に身を投じた。

一方小源太のいない平家村では、飯田城の軍勢に攻め寄せられ、宗経の命共々潰滅した。卑法な手段によつて名げん"山彦"もお品の手から奪われてしまつていた。

燃え上る館を後にして、小源太の身を求めるお品は単身江戸に発つたのである。

NHK第1【今晩】

6・00 子供の時間
40 スポーツだより
7・15 録音ニュース
30 今週の明星
8・02 演芸会
9・00 きようのニュース
35 マイク片手に
10・10 ミュージカルコメデイー
35 長唄「せん機帯」
11・10 東京の今昔
40 夢のハーモニー

ラジオ福島

6・00 童話の時間
45 音楽の小箱
7・10 録音ニュース
30 演芸会
8・00 歌う歌謡曲ショー
30 お好み演芸会
9・00 歌謡曲ショー
30 連続放送劇
10・05 浪曲「花と龍」
45 夜の調べ
11・05 銭形平次捕物百話
25 ミツドナイトコンサート

【明朝】

5・05 仏国格言集
30 あの雲越えて
6・15 村の広場
40 民謡運動
7・20 県民の時間
40 小説「遠い窓」
8・05 イタリア歌劇名曲集
45 うたのおばさん
9・10 主婦日記
35 メロデイーにのせて

5・30 朝の歌謡
45 農家の皆さんへ
6・15 おはようコーラス
30 歌とおしやべり
7・15 朝の童謡
35 朝のメロデイー
8・05 お早よう皆さん
35 ママの日記
9・15 チヤツカリウツカリ夫人
30 思い出のメロデイ

NHKテレビ【今晩】

6・00 漫画映画
35 のびゆく農村
7・15 バス通り裏
30 「安保条約」の改定をめぐつて見解をきく
8・00 劇映画歩く死がい

【平　市】

★平館　六日迄　電[illegible]
五、四〇 乙女の祈り
七、三五 若い素顔
八、四五 銀座旋風男

★平新東宝　六日迄　電[illegible]
七、三三 殺人隊の接吻
八、三六 九十九本目の生娘

★世界館　六日迄　電[illegible]
七、〇〇 都会という港
八、四五 お役者鮫

★東映劇場　六日迄　電[illegible]
六、四六 べらんめえ探偵娘
八、三一 恋山彦

★民劇　六日迄　電[illegible]
六、三〇 大学の二十八人衆
八、一七 ある日わたしは

★三夜東映　六日迄　電[illegible]
六、一六 夜霧の南京街
七、二六 ふり袖ざくら
八、四四 美男城

★聚楽館　二日迄　電[illegible]
七、〇〇 手錠のままの脱獄
八、四〇 無頼の群

★ひかり座　五日迄　電[illegible]
六、三一 真夜中
八、四一 女の一生

【常磐市】

湯本座　五日迄
私は死にたくない
虎鮫作戦
サツチモは世界を廻る

【四倉】

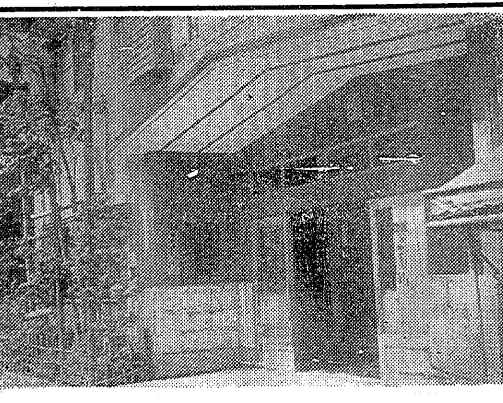
★国際劇場　一日迄
六、三〇 かげろう笠
八、〇〇 母のおもかげ

★海盛座　三日迄
六、四〇 キクトイサム
八、四〇 広い天

平けいりん
発走 11時半
主催　石城競輪組合
場外　福島・郡山・若松・平
10月 3 4 5 • 10 11 12

クリーニング
洗張・防水
小松崎
平館前　電3343

お薬のご用命は―関内薬局
平市四丁目　電3175番・3176番



秋は結婚のシーズン！
お見合い ご披ろう ご休息にも
ご利用下さい
旅館　よし川
平市田町・電2282

きそばと寿司宴會場の酒悦

十月生募集
昼間　夜間
公認 ニュースタイル編物手芸学院
毎月五日入学
平市十五丁目
電話（平）三、九九五

はきもの、靴　仙台屋

栄養満点な！
美味第一経済的にも
神戸特選精肉牛肉が
一番お徳用です！
鎌倉ハム名種特約店
緑屋牛豚肉問屋
本店　平市一丁目　電二五三九
支店　平市中央通り　電二七九四

タクシーの御用命は
2640
2175
2176
好間営業所は
5372
5647
尼子タクシー
代表取締役　吉田健造

秋は
あなたを美しくする
ニューモードのブラウスとセーター
センスのオープンシヤツ…
◎二丁目名店会の土・日セール
明るく楽しい　お買物は
中野洋品店
平二　TEL2053